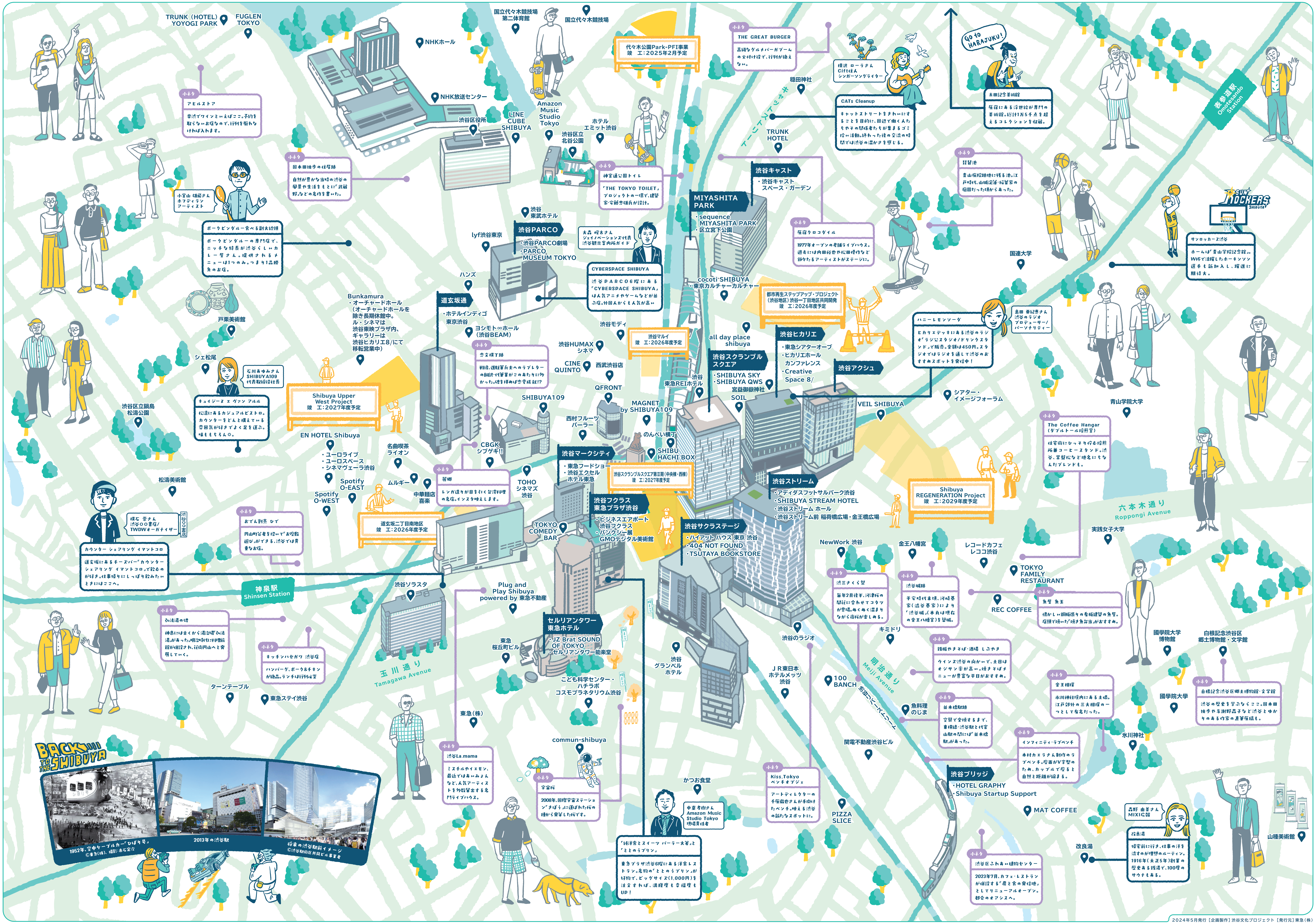

TRUNK（HOTEL）YOYOGI PARK
FUGLEN TOKYO
国立代々木競技場 第二体育館
国立代々木競技場
NHKホール
NHK放送センター
渋谷区役所
LINE CUBE SHIBUYA
Amazon Music Studio Tokyo
渋谷区立北谷公園
ホテル エミット渋谷
代々木公園Park-PFI事業 竣 工：2025年2月予定
穏田神社
キャットストリート
TRUNK HOTEL
横沢 ローラさん Cift住人 シンガーソングライター
Go to HARAJUKU!
表参道駅 Omotesando Station
SUN ROCKERS SHIBUYA
国連大学
小宮山 雄飛さん ホフディラン アーティスト
渋谷 東武ホテル
渋谷PARCO
・渋谷PARCO劇場
・PARCO MUSEUM TOKYO
大森 峻太さん ジェイノベーションズ代表 渋谷観光案内所ガイド
lyf渋谷東京
MIYASHITA PARK
・sequence MIYASHITA PARK
・区立宮下公園
渋谷キャスト
・渋谷キャスト スペース・ガーデン
cocoti SHIBUYA
・東京カルチャーカルチャー
都市再生ステップアップ・プロジェクト（渋谷地区）渋谷一丁目地区共同開発 竣 工：2026年度予定
ハンズ
Bunkamura
・オーチャードホール（オーチャードホールを除き長期休館中。ル・シネマは渋谷東映プラザ内、ギャラリーは渋谷ヒカリエ8/にて移転営業中）
道玄坂通
・ホテルインディゴ 東京渋谷
ヨシモト∞ホール（渋谷BEAM）
戸栗美術館
シェ松尾
石川あゆみさん SHIBUYA109 代表取締役社長
渋谷区立鍋島松濤公園
Shibuya Upper West Project 竣 工：2027年度予定
EN HOTEL Shibuya
・ユーロライブ
・ユーロスペース
・シネマヴェーラ渋谷
名曲喫茶 ライオン
Spotify O-EAST
Spotify O-WEST
ムルギー
中華麺店 喜楽
CBGK シブゲキ!!
SHIBUYA109
渋谷モディ
渋谷マルイ 竣 工：2026年度予定
渋谷HUMAX シネマ
CINE QUINTO
西武渋谷店
QFRONT
西村フルーツ パーラー
MAGNET by SHIBUYA109
のんべい横丁
SHIBU HACHI BOX
渋谷 東急REIホテル
all day place shibuya
渋谷スクランブルスクエア
・SHIBUYA SKY
・SHIBUYA QWS
宮益御嶽神社
SOIL
渋谷ヒカリエ
・東急シアターオーブ
・ヒカリエホール カンファレンス
・Creative Space 8/
渋谷アクシュ
シアター・イメージフォーラム
VEIL SHIBUYA
島田 亜紀恵さん 渋谷のラジオ プロデューサー/パーソナリティー
青山学院大学
渋谷マークシティ
・東急フードショー
・渋谷エクセルホテル東急
渋谷スクランブルスクエア第II期（中央棟・西棟） 竣 工：2027年度予定
TOHO シネマズ 渋谷
道玄坂二丁目南地区 竣 工：2026年度予定
渋谷フクラス 東急プラザ渋谷
・ビジネスエアポート 渋谷フクラス
・バンクシー展 GMOデジタル美術館
TOKYO COMEDY BAR
渋谷ストリーム
・アディダスフットサルパーク渋谷
・SHIBUYA STREAM HOTEL
・渋谷ストリーム ホール
・渋谷ストリーム前 稲荷橋広場・金王橋広場
Shibuya REGENERATION Project 竣 工：2029年度予定
渋谷サクラステージ
・ハイアット ハウス 東京 渋谷
・404 NOT FOUND
・TSUTAYA BOOKSTORE
松濤美術館
横石 崇さん 渋谷〇〇書店/TWDWオーガナイザー
渋谷〇〇書店
神泉駅 Shinsen Station
NewWork 渋谷
金王八幡宮
レコードカフェ レコココ渋谷
六本木通り Roppongi Avenue
実践女子大学
TOKYO FAMILY RESTAURANT
REC COFFEE
渋谷ソラスタ
Plug and Play Shibuya powered by 東急不動産
セルリアンタワー東急ホテル
・JZ Brat SOUND OF TOKYO
・セルリアンタワー能楽堂
東急 桜丘町ビル
渋谷 グランベル ホテル
渋谷のラジオ
キミドリ
こども科学センター・ハチラボ コスモプラネタリウム渋谷
桜まつり
玉川通り Tamagawa Avenue
ターンテーブル
東急ステイ渋谷
東急（株）
commun-shibuya
JR東日本 ホテルメッツ 渋谷
100 BANCH
明治通り Meiji Avenue
渋谷リバーストリート
魚料理 のじま
関電不動産渋谷ビル
かつお食堂
中臺孝樹さん Amazon Music Studio Tokyo 現場責任者
PIZZA SLICE
渋谷ブリッジ
・HOTEL GRAPHY
・Shibuya Startup Support
MAT COFFEE
國學院大学 博物館
白根記念渋谷区 郷土博物館・文学館
國學院大學
氷川神社
改良湯
森野 由美さん MIXI広報
山種美術館
BACK TO THE SHIBUYA

1952年、空中ケーブルカー「ひばり号」
©東急(株)、撮影：赤石定次

2013年の渋谷駅

将来の渋谷駅前イメージ
©渋谷駅街区共同ビル事業者

小ネタ
アヒルストア
奥渋でワインといえばここ。予約を取らないお店なので、行列を厭わなければ入れます。

小ネタ
国木田独歩の住居跡
自然が豊かな当時の渋谷の風景や生活をもとに「武蔵野」などの名作を書いた。

ポークビンダルー食べる副大統領
ポークビンダルーの専門店で、ニッチな特長が渋谷らしいカレー屋さん。提供されるメニューは1つのみ。つまり1品勝負のお店。

小ネタ
神宮通公園トイレ
「THE TOKYO TOILET」プロジェクトの一環で、建築家・安藤忠雄氏が設計。

CYBERSPACE SHIBUYA
渋谷PARCO6階にある「CYBERSPACE SHIBUYA」は人気アニメやゲームなどが並ぶ店。外国人からも人気が高い

小ネタ
THE GREAT BURGER
高級なグルメバーガーブームの火付け役で、行列が絶えない。

CATs Cleanup
キャットストリートをきれいにすることを目的に、周辺で働く人たちやその関係者たちが集まるゴミ拾い活動。終わった後の交流の時間では渋谷の温かさを感じる。

太田記念美術館
原宿にある浮世絵が専門の美術館。総計1万5千点を超えるコレクションを収蔵。

小ネタ
琵琶池
青山病院跡地に残る池。江戸時代、山城淀藩・稲葉家の庭園だった頃からあった。

小ネタ
原宿クロコダイル
1977年オープンの老舗ライブハウス。過去には内田裕也や松田優作など錚々たるアーティストがステージに。

サンロッカーズ渋谷
ホームは「青山学院記念館」。W杯で活躍したホーキンソン選手も新加入し、躍進に期待大。

ハニーレモンソーダ
ヒカリエデッキにある渋谷のラジオ「ラジ公スタジオ/ドリンクスタンド」で販売。金額は450円。スタジオではラジオを通して渋谷のおすすめスポットを発信中！

小ネタ
恋文横丁跡
戦後、進駐軍兵士へのラブレターの翻訳・代筆業がこのあたりに多かった。碑を拝めば恋愛成就!?

キュイジーヌ エ ヴァン アルル
松濤にあるカジュアルビストロ。カウンターをどんと構えている雰囲気が好きでよく足を運ぶ。味ももちろん◎。

小ネタ
麗郷
レンガ造りが目を引く台湾料理の名店。インスタ映えします。

小ネタ
おでん割烹 ひで
円山町芸者を招いて「お座敷遊び」ができる、渋谷では貴重なお店。

カウンター シェアリング イマントコロ
道玄坂にあるチーズバー「カウンター シェアリング イマントコロ」で飲むのが好き。仕事帰りにしっぽり飲みたいときにはここへ。

小ネタ
The Coffee Hangar（ダブルトール焙煎室）
住宅街にひっそり佇む焙煎所兼コーヒースタンド。渋谷、常盤松など地名にちなんだブレンドも。

小ネタ
渋三さくら祭
毎年2月後半、河津桜の開花に合わせてコタツが登場。ぬくぬく温まりながら夜桜が楽しめる。

小ネタ
渋谷城跡
平安時代末頃、河崎基家（渋谷基家）により「渋谷城」（本丸は現在の金王八幡宮）を築城。

小ネタ
魚屋 魚玉
懐かしい銅板張りの看板建築の魚屋。店頭で焼いた「焼き魚弁当」がおすすめ。

小ネタ
弘法湯の碑
神泉には古くから湯治場「弘法湯」があった。明治時代に料理旅館が併設され、花街円山へと発展していく。

小ネタ
キッチンハセガワ 渋谷店
ハンバーグ、ポーク&チキンが絶品。ランチは行列必至

小ネタ
鉄板やきそば・酒場 しぶやき
ウインズ渋谷の向かいで、土日はオジサン率が高い。焼きそばメニューが豊富な平日がおすすめ。

小ネタ
金王相撲
氷川神社境内にある土俵。江戸郊外の三大相撲の一つとして有名だった。

小ネタ
白根記念渋谷区郷土博物館・文学館
渋谷の歴史を学ぶならここ。国木田独歩や与謝野晶子など渋谷とゆかりのある作家の直筆原稿も。

小ネタ
並木橋駅跡
空襲で全焼するまで、東横線・渋谷駅と代官山駅の間には「並木橋駅」があった。

小ネタ
渋谷La.mama
ミスチルやイエモン、最近ではあいみょんなど、人気アーティストを多数輩出する名門ライブハウス。

小ネタ
宇宙桜
2008年、国際宇宙ステーション「きぼう」に運ばれた桜の種から発芽した桜です。

小ネタ
Kiss,Tokyo ベンチオブジェ
アートディレクターの千原徹也さんが手掛けたベンチ。映える渋谷の新たなスポットに。

小ネタ
インフィニティ・ラブベンチ
木村カエラさん制作のラブベンチ。座面がV字型のため、カップルで座ると自然と距離が縮まる。

「純洋食とスイーツ パーラー大箸」と「ととのうプリン」
東急プラザ渋谷6階にある洋食レストラン。名物の「ととのうプリン」が好物で、ビッグサイズ(1,000円)を注文すれば、満腹度も幸福度もUP！

小ネタ
渋谷区ふれあい植物センター
2023年7月、カフェ・レストランが併設する「農と食の発信地」としてリニューアルオープン。都会のオアシスへ。

改良湯
帰宅前に行き、仕事の汗を流すのが理想のルーティン。1916年（大正5年）創業の歴史ある銭湯で、100度のサウナもある。

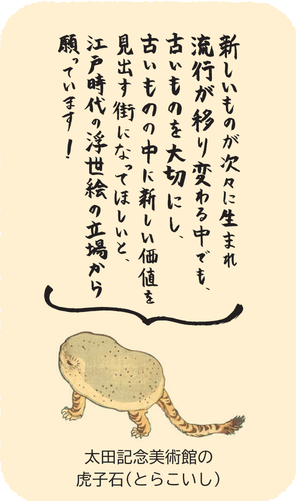
2024年5月発行［企画製作］渋谷文化プロジェクト［発行元］東急（株）

SHIBUYA 渋谷 8つの遊ぶの話。

Hang out 01 渋谷で芸術文化にふれる。

古典からストリートまで幅広く

古典的な美術館から現代アートを取り扱うギャラリーまで、芸術関連の施設も多く並ぶ街。浮世絵専門の「太田記念美術館」や日本画専門の「山種美術館」、「考古」や「神道」などを展示する「國學院大學博物館」など、古典的な文化施設が佇む一方で、渋谷ヒカリエ4階のヒカリエデッキ外壁には、年に数作品、さまざまなアーティストによる大規模な「壁面アート」が描かれています。また、人形美術家・アニメーション作家として活躍した川本喜八郎氏の展示が並ぶ「川本喜八郎人形ギャラリー」や、東洋の陶磁器が楽しめる「戸栗美術館」、建築家の白井晟一氏が設計した「渋谷区立松濤美術館」、さらに古代エジプト遺物コレクターとして知られる菊川匡氏が館長を務める「古代エジプト美術館」、渋谷駅と渋谷マークシティをつなぐ連絡通路には岡本太郎の巨大壁画「明日の神話」が公開されているなど、多種多様な芸術に気軽に出合えます。



新しいものが次々に生まれ
流行が移り変わる中でも、
古いものを大切にし、
古いものの中に新しい価値を
見出す街になってほしいと、
江戸時代の浮世絵の立場から
願っています！

太田記念美術館の
虎子石（とらこいし）

Hang out 02 ライブエンタテイメントを楽しむ。

劇場やイベントスペースもたくさん！

ライブハウスやクラブのイメージが強い一方で、日本の古典から海外のコンテンツまで、個性的なライブエンタテイメントが楽しめる劇場やイベントスペースも存在する街。お笑いイベントや番組収録なども行われる「ヨシモト∞ホール」や、各界のマニアがさまざまなテーマでイベントを開催する「東京カルチャーカルチャー」、落語会やコントライブが行われる「渋谷ユーロライブ」、日本を代表するミュージカル劇場である「東急シアターオーブ」や伝統文化を発信する「セルリアンタワー能楽堂」など多様な施設があります。2022年5月にオープンしたのは、アメリカンクラフトビール片手にスタンダップコメディが楽しめる「Tokyo Comedy Bar」。マスターのBJフォックスさんは「賑やかな雰囲気がとにかく最高な街。日本語と英語でお笑いショーを開催しているため、外国人に人気が高い渋谷はぴったり」と話してくれました。

Tokyo Comedy Bar

Hang out 03 スポーツでリフレッシュ！

フットサルやバスケで汗を流してみる？

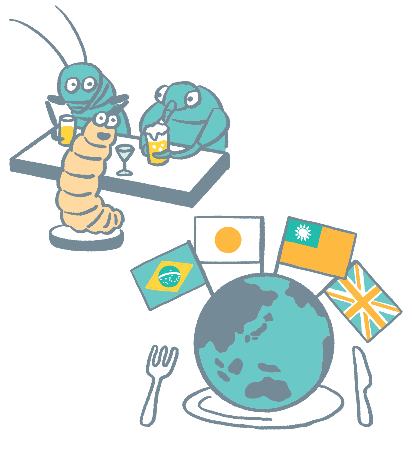
都会ながら公園や競技場も多く、「観る」「する」の両面でスポーツを楽しめる街。ぜひ観戦したいのは、渋谷区に本拠地を置く男子プロバスケットボールリーグ（Bリーグ）「サンロッカーズ渋谷」の試合。「青山学院記念館」で行われるホームゲームでは、大きな体から繰り出される豪快なシュートはもちろん、チアリーダーのキレキレのライブパフォーマンスも見どころ。体を動かし汗を流したいときは、渋谷ストリーム4階の「アディダスフットサルパーク 渋谷」でフットサル、宮下公園のサンドコートでビーチバレー、ウォールでボルダリングも。ランニングコースとしても人気の代々木公園では拡張工事が行われており、ランニングステーションや屋内外でスケートボードができるアーバンスポーツパークなども。2025年2月供用開始予定です。

サンロッカーズ渋谷

Hang out 04 フードダイバーシティを極める。

昆虫食＆ヴィーガンなども味わえる！

世界の料理からスイーツなど最新の食トレンド、さらにヴィーガンや昆虫食まであらゆるフードが楽しめる街。1955年開業の老舗「麗郷」では台湾、「GOCCHI BATTA」ではブラジル、「ホブゴブリン」ではイギリスなど世界各国の料理が楽しめ、「米とサーカス 渋谷PARCO店」や「EAT for E 渋谷店」などでは昆虫食も食べられます。また最近では、フードロスや、プラスチック容器包装など食に関わる社会問題に取り組む飲食店も増えてきました。ホフディランのVo&Key担当で、「美味しい渋谷区プロジェクト」CEOの小宮山雄飛さんは、「昼間人口が多いことから、実験的にポップアップショップを期間限定で出店し、その後の計画を立てる飲食店も多いです。渋谷は、品がありつつ、先端の尖った部分もありつつ、すごくバランスの良い街。その上で再開発により変化する街の魅力をもっと伝えられたら良いなと思っています」とコメント。



Hang out 05 昭和時代にタイムスリップ!?

レトロな雰囲気漂う「横丁」にGO！

再開発が進む一方で、昭和レトロな風景も残されている街。タイムスリップしたかのような雰囲気が楽しめる「渋谷 のんべい横丁」は街の人が集まり出会いが生まれるスポット。50年以上続く店など約40店舗がひしめきます。のんべい横丁の広報を務める御厨浩一郎さんは「会津」のマスターも兼任。「84歳のおばあちゃんがマスターを務める店や20代の男女が集う店、外国人に人気の店など、狭い空間に多種多様な人々が集まります」と再開発が進む渋谷における横丁文化の魅力をコメント。一人でしっぽり飲みたいときは、バー「Curva」のバーテンダー瑞穂ちゃんに会いに。恋愛など“大人な相談”があるときは「Bar calms」のりんごちゃんのもとへ。

渋谷のんべい横丁 会津

Hang out 06 仕事に疲れたときに行きたい場所！

青空見ながらのんびりゴロゴロ

都会ながら空を見上げリラックスできるスペースも多い街。広さ54haを誇る代々木公園では、生い茂る木々や川の音、鳥の声などの豊かな自然が満喫できます。また、2020年に宮下公園から生まれ変わった「MIYASHITA PARK」屋上には1000㎡もの芝生が広がり、カフェも併設されているためコーヒー片手にのんびり過ごすことができます。そして、2019年に開業した「渋谷スクランブルスクエア」には地上229mの展望施設「SHIBUYA SKY（渋谷スカイ）」が。日本最大級の屋上展望空間では360度パノラマビューの景色が楽しめ、東京の絶景を背景に記念撮影も可能。東京の新名所として人気のスポットとなっています。設置されているソファでくつろぎながら東京を一望したり、ハンモックに寝転びながら空を眺めたり、リフレッシュできる空間です。青空も最高ですが、東京の夜景が一望できるナイトタイムもおすすめ。ソファ席などでドリンクを楽しめるルーフトップバー「THE ROOF SHIBUYA SKY」も期間限定でオープン。

渋谷スクランブルスクエア SHIBUYA SKY CLOUD HAMMOCK
©渋谷スクランブルスクエア

Hang out 07 渋谷のスリバチ地形を楽しむ。

勇者気分で魅力が詰まった街歩き

谷地形で構成され、路地も多く、歩くとさまざまな発見がある街。谷底の渋谷駅付近は海抜約15m、西側の道玄坂上は約32m、東側の宮益坂上は約34m、北側の区役所付近は約33mと渋谷の街は「スリバチ状」になっています。シブヤ経済新聞・西樹編集長は「スリバチ地形が渋谷ならではの面白さ。複雑な地形は再開発において過去には不利な印象もあったが、渋谷の再開発はこの高低差のある地形を生かして、ユニークなまちづくりが進められている」と他の街との差別化につながっていると言います。スリバチの底にある渋谷駅から代々木公園方面に向かって歩くと上り坂になるわけですが、その途中には雰囲気の良いカフェや雑貨店などがあるため、「どんな店があるんだろう」とワクワクした気持ちで楽しく歩けます。さらに商業施設やビルの間には抜け道のような小路や細い道、曲がりくねった道も多くあり、路地を抜けた先にはすてきな店が待っていることも。宝探しをするゲームの主人公気分で「渋谷ダンジョン」を楽しめば、きっと想定外の出合いがあるはず。

SHIBUYA DUNGEON

Hang out 08 お祭りや街イベントに参加してみる！

エンタテイメントシティSHIBUYAのパワーを浴びる

「エンタテイメントシティ」として、イベント開催時には多くの人たちが集まり賑わいを見せる街。夏の恒例イベント「渋谷盆踊り大会」は、第1回目となった2017年以降、3万人以上がSHIBUYA109前に集まります。2016年から始まったカウントダウンイベントは、外国人観光客を含め毎年約10万人が訪れるほどの大イベントに成長しました（共にコロナ禍除く）。ネットやメタバースが普及する今日でも、渋谷の街が持つリアルの魅力とパワーに多くの人々が惹きつけられます。「渋谷盆踊り 道玄坂青年会」副会長の長谷川賀寿夫さんは「盆踊りには、渋谷の歴史を知るご年配の方からさまざまなジャンルの方までが集まるため、いろいろな話を聞けるチャンスが多い」とコメント。圧倒的な集客力を持つ街イベントも、渋谷ならではのパワーと魅力にあふれています。

渋谷盆踊り大会

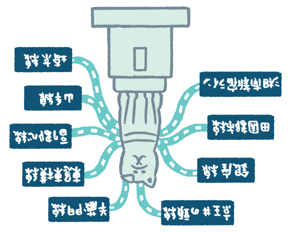
SHIBUYA 渋谷 8つの働くの話。

Work 01 通勤、採用に最適！

4社9路線が乗り入れる好立地の渋谷駅

1日に330万人以上が利用する渋谷駅※。東急東横線・田園都市線、東京メトロ副都心線・半蔵門線・銀座線、京王井の頭線、JR各線の4社9路線が走るため通勤しやすく、リクルーティングにも有利な立地。丸の内などと並び、働きたい街ランキング上位に名を連ねます。また1駅隣には代官山、恵比寿、原宿、表参道など、それぞれ異なる個性豊かな街が広がります。渋谷駅から半径2.5キロ圏内の「Greater SHIBUYA」（広域渋谷圏）は「働く・遊ぶ・暮らす」全ての都市機能が包含されている魅力的なエリアです。

※2019年度調査データ



Work 02 個性こそが未来を切り拓く！

「ちがいをちからに変える街」

時代に合わせ、常に先進的な働き方を追求し取り入れる街。2015年に渋谷区が全国に先駆けて「パートナーシップ証明」を導入したことは話題となりましたが、ジェンダー平等、LGBTQに対する理解を示す企業も多く、多様な人材が活躍する街でもあります。「SHIBUYA109エンタテイメント」代表取締役の石川あゆみさんは「性別にとらわれないスタイリングの提案をするなどSDGs、ジェンダー、LGBTQなどを意識した施策を積極的に取り入れています。渋谷全体でもそうした意識は浸透していて、どんな服を着ていても、個性的な活動も自然に受け入れられる文化があります」とコメント。また、風通しの良い職場、自由な服装など、渋谷らしいカジュアルな企業が多いことも特徴。アフターコロナの新しい働き方をいち早く取り入れる企業も多く、「MIXI」では「昼12時までに出社可能な範囲で日本全国どこでも居住可能」「部署ごとに出社回数が決められる」など、「マーブルワークスタイル」という独自の制度を導入。22年に実施した従業員アンケートによると、全社員の55.4%が「週1，2回出社」、14.1%が「フルリモート」を利用しているといいます。中にはフルリモートで九州に移住したエンジニアもいるとか。広報の森野由美さんは「リモートで働く人や企業が増えている今だからこそ、いざ集まろうとなったときに拠点が渋谷にあることは利便性などの面からとても有効的。渋谷に拠点を置く企業は働き方も多様性があり、地方にいながら仕事ができるなど充実した制度を導入している企業が多いように感じます」と話します。

SHIBUYA109エンタテイメント
代表取締役 石川あゆみさん

Work 03 新しいカルチャーを生む。

全国の約15％のクリコン産業が集積！

クリエイティブコンテンツ産業が集積する街。GoogleやGMOインターネット、DeNA、サイバーエージェント、MIXIなどの大手IT企業をはじめ、全国の約15%のクリエイティブコンテンツ企業※が渋谷に集結。WeWork、JustCoなどシェアオフィスも多く、そこから新しいスタートアップも生まれ続けています。2022年3月には、「Amazon Music Studio Tokyo」が公園通りに新たな拠点を開設。現場責任者の中臺孝樹さんは「『アーティストとファンをつなぐ架け橋になる』というミッションを体現する場として開設しました。オリジナルコンテンツの制作拠点、カルチャーの発信源として渋谷を盛り上げられれば」と渋谷と音楽との親和性に期待を寄せます。利便性が高く、流行の発信地として若年層から長年支持され、自由と個性を存分に表現できる渋谷は、大手、ベンチャー問わず多様な企業が集まり、未来の新しい生活・文化が生まれています。

※東急総合研究所調べ

Amazon Music Studio Tokyo

Work 04 ビジネスに必要なセンスは街で養う。

大企業の研究・開発ラボが次々と誕生！

仕事や観光、食事、買い物、推し活などさまざまな切り口で多くの人が滞在していることから、街を歩くだけでマーケティングができる街。恵比寿、代官山、原宿、表参道と感度の高い街が徒歩圏内にあるため、渋谷は年齢も好みも多種多様な人が混ざり合います。そういった背景もあり、渋谷には大企業の開発ラボがいくつも存在します。SHIBUYA109は、Z世代に特化するマーケティングチーム「SHIBUYA109 lab.」を発足し、若者の消費者行動調査に基づきイベントやキャンペーンなどを行っています。さらに自動車関連の製品や新技術の研究開発を行う「デンソーアイティーラボラトリ」や、東洋新薬の商品開発ラボ「クイックラボ渋谷」、自動車大手の「SUBARU」もラボを構えています。今後も、渋谷を実験の場にする企業が増えることでしょう。

SHIBUYA MARKETING

Work 05 大企業もスタートアップも関係ない!?

産学官民みんな一緒にイノベーション

オープンイノベーションの拠点も数多く点在する街。2017年にパナソニックが創業100周年を機に渋谷川沿いに「100BANCH」を立ち上げると、2019年には東急がスタートアップ企業や大企業などの新しいサービス・プロダクトの社会実装にフォーカスした「SOIL」を、渋谷スクランブルスクエアが共創施設「SHIBUYA QWS」をオープン。2020年に渋谷区が「SHIBUYA STARTUP DECK」を設立すると、翌年には東急不動産が桜丘エリアに新規事業発足を支援する「NIB」や、Shibuya REGENERATION Projectの一環として「VEIL SHIBUYA」も誕生しました。ひとつのプロジェクトに対し、大企業、スタートアップ、大学、行政など産学官民連携で取り組む姿が見られ、それぞれ研究開発やSTEAM人材の育成、インキュベート、アクセラレートなど、渋谷から世界に向けた企業や価値の創出を目指しています。

渋谷スクランブルスクエアSHIBUYA QWS「PROJECT BASE」
©渋谷スクランブルスクエア

Work 06 人材の宝庫!?

多彩なプレイヤー＆コミュニティとの出会い

多くの企業やプロジェクトが集まり、日々多彩なプレイヤーが活躍を続ける街。2016年に開局した「渋谷のラジオ」では「聴くラジオから、出るラジオへ」をテーマとし、商店の店主から企業人、著名なアーティストまで、渋谷にまつわる人々がMCとして出演中。プロデューサー/パーソナリティーの島田亜紀恵さんは「渋谷にまつわる多彩な出演者とリスナーとがフラットにつながる、ローカルで顔の見える放送局」と説明し、「災害時に頼られる存在」になることを目指しているといいます。2021年に渋谷ヒカリエにオープンしたのは、シェア型書店「渋谷〇〇書店」。管理人の横石崇さんは「6歳から80歳まで100人以上が入居中。棚主が別の棚主の本を買うなど新しいコミュニティが生まれています」とコメント。多彩な才能や異業種のプレイヤーが集まることでシナジーが生まれ、新たなプロジェクトやコミュニティが誕生しています。

渋谷のラジオ

Work 07 都市型観光拠点として確立！

観光客やビジネスマン向けにホテルが続々と開業

世界からの注目度が高く、海外からの渡航者も多い街。2022年に東京都が実施した調査によると、日本を訪れる外国人観光客の58.4%が渋谷を訪れており、新宿や銀座を抜いて最も人気の高い場所となりました。※ハチ公前広場・渋谷観光案内所「SHIBU HACHI BOX」でガイドを行う大森峻太さんは「渋谷には多様性があって、新しい挑戦をする人を応援してくれる空気があります。コロナ前に外国人観光客に大変好評いただいていた、私たちが運営する渋谷区観光協会オフィシャルツアーも新スポットを取り入れたツアーを新たに作り、インバウンド観光復活に備えています」と話します。ここ数年では、観光客はもちろん、ビジネスマンにも便利なホテルが続々とオープン。「SHIBUYA STREAM HOTEL」や、宮下公園内の「sequence MIYASHITA PARK」「HOTEL INDIGO 東京渋谷」など、駅周辺にホテル開業が相次いでいるほか、「渋谷キャスト」のサービスアパートメントや民泊施設も増え、「滞在先」としての環境も整えられてきました。さらに今後もホテル建設がいくつも計画されており、外国人受け入れ体制も着々と進んでいます。※東京都「令和４年 国・地域別外国人旅行者行動特性調査結果」より

SHIBUYA STREAM HOTEL ロビー
©渋谷ストリーム

Work 08 渋谷の進化は止まらない！

大規模再開発でより便利に

渋谷ヒカリエを皮切りに、現在も100年に一度の大規模再開発が進められている街。駅周辺の基盤整備も進み、安全で快適な街への進化が止まりません。23年11月に「Shibuya Sakura Stage」竣工、渋谷ヒカリエに隣接する「渋谷アクシュ」は24年7月に開業。さらに「渋谷スクランブルスクエア第Ⅱ期（中央棟・西棟）」、「Shibuya Upper West Project」、渋谷区役所仮庁舎跡地、新大宗ビルを含む建て替えに加え、宮益坂上では「Shibuya REGENERATION Project」など、数多くのプロジェクトが進行中。都市機能が充実し、利便性や快適性が高まることで、街としての魅力度はますますアップしていきます。

渋谷アクシュ　外観イメージ
©渋谷二丁目17地区市街地再開発組合